



患者さんの尊厳を守るために 身体的拘束最小化に向けた当院の指針

令和8年5月1日
石川県済生会金沢病院
病院長 荒木 勉

私たちは「拘束のないケア」を追求することを誓います。

1. 基本的な考え方

1. 患者様、利用者様の人格と尊厳を最大限尊重します。
2. 身体的拘束は原則として行いません。
3. 身体的拘束に代わるケア方法を検討し、実践します。
4. 身体的拘束の必要性について常に検討し、最小化に努めます。
5. 身体的拘束を行う場合は、法令及び院内規程に基づき適切に対応します。

患者さんの尊厳を第一に

私たちは、
拘束のないケアの
実現を目指
しています。



毎日、解除への
可能性を
検討します。

やむを得ない場合の「3要件」

切迫性



生命への危険

非代替性



他に手段がない

一時性



必要最小限の時間

これらを満たす場合のみ、慎重に検討します。

2. 身体的拘束最小化への取り組み

～患者さんの人権と尊厳を尊重します～

「身体拘束最小化チーム」が、以下の活動を行っています。

- 実施状況の定期的な巡回確認(ラウンド)
- 拘束を解除・軽減するための代替案の検討
- 全職員を対象とした適切なケア・技術等の研修

多職種
連携



医師・看護師・リハビリの専門知識

環境
調整



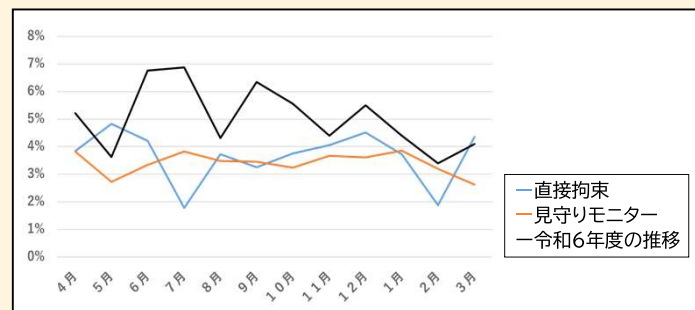
超低床ベッド

安全な環境づくり

3. 実施状況のご報告

当院全体の身体的拘束実施率は、およそ3.6%、
地域包括ケア病棟は3.38%で推移しており、
多職種協働による専門的な関わりを強化し、
さらなる改善を目指します。

令和7年度(全体)



令和7年度(地域包括ケア病棟)

